

第58回 熊本県子ども会大会 南阿蘇・西原大会

目的

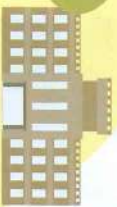
- ①熊本地震の災害の大きさを知り視察体験を通して復興のプロセスを知る
- ②地域・コミュニティの大切さを学び、伝え継承していく

スローガン

地震の驚異と自然の雄大さを知って学ぼう！



震災ミュージアムって
どんなところ？



崩れた建物や、断層を
保存している場所です。
熊本地震を忘れないように
後世に残すために
みんなが学びましょう。

シルクスイートとは？



西原村の特産品です。
甘くてしっとりしている
さつまいもです。
やき芋にすると美味しいです。
みんなで楽しくたくさん
お芋を掘ろう！

学べの声

- ・建てるものや橋がこわれたり、地面が割れたり命がなくなったりしたことを知って災害の大きさを感じた。
- ・バスで南阿蘇を走りながらガイドさんがわかりやすく説明してくださったり、新しい橋、開通している鉄道や道路などを見たりして復興が進んでいるのがわかった。

- ・広い畑、1つの畝が100mぐらいいあっておどろいた。さらさらの土からたくさんのお芋が出てきて楽しかった。
- ・地域の人や子どもたちとの交流の場ができて充実した時間になった。

本大会が、「南阿蘇・西原、地震の驚異と自然の雄大さを知って学ぼう！」をスローガンに開催されますことは、ふるさとを愛し、夢や希望を持つ心豊かな子どもの育成に、大いに寄与するものになると思います。参加される皆様が、交流を深め、たくさんの方たちをつくり、そのつながりを大切に、それぞれの地域で益々御活躍されることを期待します。

本大会が、「南阿蘇・西原、地震の驚異と自然の雄大さを知って学ぼう！」をスローガンに開催されますことは、ふるさとを愛し、夢や希望を持つ心豊かな子どもの育成に、大いに寄与するものになると思います。参加される皆様が、交流を深め、たくさんの方たちをつくり、そのつながりを大切に、それぞれの地域で益々御活躍されることを期待します。

熊本地震の発生から半年が経ち、復旧・復興は着実に進んでおりますが、熊本地震の経験や教訓を忘れず後世へと伝えていく必要があります。

熊本地震の発生から半年が経ち、復旧・復興は着実に進んでおりますが、熊本地震の経験や教訓を忘れず後世へと伝えていく必要があります。

熊本地震の発生から半年が経ち、復旧・復興は着実に進んでおりますが、熊本地震の経験や教訓を忘れず後世へと伝えていく必要があります。

熊本地震の発生から半年が経ち、復旧・復興は着実に進んでおりますが、熊本地震の経験や教訓を忘れず後世へと伝えていく必要があります。

熊本地震の発生から半年が経ち、復旧・復興は着実に進んでおりますが、熊本地震の経験や教訓を忘れず後世へと伝えていく必要があります。



熊本地震の発生から半年が経ち、復旧・復興は着実に進んでおりますが、熊本地震の経験や教訓を忘れず後世へと伝えていく必要があります。

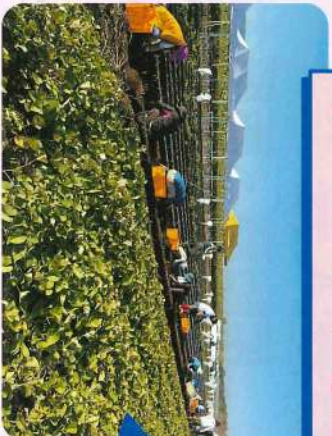
熊本地震の発生から半年が経ち、復旧・復興は着実に進んでおりますが、熊本地震の経験や教訓を忘れず後世へと伝えていく必要があります。

熊本地震の発生から半年が経ち、復旧・復興は着実に進んでおりますが、熊本地震の経験や教訓を忘れず後世へと伝えていく必要があります。

子ども大会ルート からいも掘体験 in西原村



いもほりスタート
1本のつるから6〜7個のいもが!!
「ごっかーい!」「いっぱいながってる!」「おいしそう!」



会場に到着



こんなにいっぱい



あまくておいしい

移動

地震の驚異と 復興に触れる in南阿蘇

バスで出発!!
ガイドさんと
見学スタート



東海大学震災遺構「断層」



「校舎のひび割れ」



「さがる
数鹿赤崩れ展望所」